

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 1 区分
【発行日】令和 5 年 4 月 7 日(2023.4.7)

【公開番号】特開 2022-101614(P2022-101614A)
【公開日】令和 4 年 7 月 6 日(2022.7.6)
【年通号数】公開公報(特許)2022-122
【出願番号】特願 2022-66777(P2022-66777)
【国際特許分類】
G 0 1 S 7/495(2006.01)
【F I】
G 0 1 S 7/495

10

【手続補正書】
【提出日】令和 5 年 3 月 30 日(2023.3.30)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

車両の速度を測定するためのレーザー光の受光に応じた報知を行うシステムであって、
窓が設けられた筐体と、
前記窓に設けられ、入射した光のうちの少なくとも前記レーザー光を透過させる部材と、
集光レンズと、
前記窓及び前記集光レンズを通過した光を受光する受光素子と、
前記受光素子が受光した前記レーザー光に応じて、前記報知する制御を行う制御部と、
を備え、
前記集光レンズは、入射した光のうちの少なくとも前記レーザー光を通過させ、かつ可
視光をカットするフィルタの機能を有するように形成されている
システム。

30

【請求項 2】
前記レーザー光を透過させる部材は、可視光カットフィルタとして機能する
請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】
前記レーザー光を透過させる部材は、前記筐体と異なる素材で形成される
請求項 1 又は 2 に記載のシステム。

【請求項 4】
前記レーザー光を透過させる部材は、前記筐体と同系色である
請求項 3 に記載のシステム。

40

【請求項 5】
前記レーザー光を透過させる部材は、前記筐体とは表面状態が異なる
請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【請求項 6】
前記集光レンズを薄型のレンズとした
請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【請求項 7】
車両の速度を測定するためのレーザー光の受光に応じた報知を行うシステムであって、

50

窓が設けられた筐体と、
前記窓に設けられ、少なくとも前記レーザー光を透過させる部材と、
集光レンズと、
前記窓及び前記集光レンズを通過した光を受光する受光素子と、
前記受光素子が受光した前記レーザー光に応じた信号を、前記レーザー光の受光に応じた報知を行う外部の電子機器に出力する手段と、
を備え、
前記集光レンズは、入射した光のうちの少なくとも前記レーザー光を通過させ、かつ可視光をカットするフィルタの機能を有するように形成されている
システム。

10

20

30

40

50